| 事業所名 | 児童発達支援　バンフ | **支援プログラム** | 作成日 | 2025 年 | 3 月 | 10 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | メープルビレッジ「バンフ」は、ご利用者一人ひとりが自身の個性に合う生き活きとした発達を続け、ご家族と共に健やかで安心した日々を送っていけるよう、その支えとしての素朴で温かな“村(ビレッジ)”のような心の拠り所の場である。 | | | |
| 支援方針 | 「完全個別支援＋“α”」をモットーに、１対１のマンツーマン対応ならではの、一人ひとりに合わせたオーダーメイドな内容でフレキシブルに支援を行います。また、園や学校といった集団活動や社会の中に入っていくための最初のステップとして、保護者以外の他人とのふれあいや、やり取りを通じた対人関係の基礎の学びと共に、隣室児との小々集団の交流も大切にしていきます。 | | | |
| 営業時間 | 13 時　00 分から　19 時　30 分まで | | 送迎実施の有無 | あり　(なし) |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 支援キーワード【あいさつ・入退室時ルーティン行動・絵カードによる認識・日常生活スキルの向上・終わり時間の切り上げ意識 など】<br>支援内容の一例・あいさつ、服の着脱、手洗い、トイレなど、日常生活の基本的なスキルを身に付けていけるよう声掛けや経験の場を設けながらサポートしていきます。<br>・自分でできることは見守り、必要な時に手伝ってもらいながら自分のことは自分で頑張れる力がつくよう支援していきます。<br>・出来ないこと、自分では無理なことは周囲に助けを求めることによる問題解決方法なども知らせていきます。 | | |
| | 運動・感覚 | 支援キーワード【工作/創作・お菓子作り・興味の拡大・軽い運動・身体の使い方(粗大運動)・手指活動(巧緻性)・ビジョントレーニング・身体感覚・後片付け習慣 など】<br>支援内容の一例・遊びながら楽しく体の使い方を知らせられるよう、指先や身体全体を使った活動や表現ができるように支援をしていきます。<br>・気温の変化や運動後の発汗など、暑さ寒さの感覚に自分で気付けるよう促していきます。<br>・使った物や次の活動に移行する際など、片付けの習慣を身に付けていけるよう声掛けなどに配慮していきます。 | | |
| | 認知・行動 | 支援キーワード【文字や言葉に触れる・伝えたい/伝わったの気持ち・成功体験の積み上げ・失敗から得るもの・自己肯定感の獲得・自己解決力の習得・五感の向上 など】<br>支援内容の一例・失敗を恐れずに、自分でやってみよう！、やってみたい！という気持ちを大切にしながら、たくさんの経験を通して頑張れる力を伸ばせるよう寄り添います。<br>・いろいろな事に挑戦し、達成できる嬉しさや喜びなど、成功体験から「できた！」の気持ちを自信に繋げられるようサポートしていきます。<br>・スライムや粘土などの感触遊びや、いろいろな素材のおもちゃなどの感覚遊びなど、様々な体験を安全面にも留意しながら支援をしていきます。 | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | 支援キーワード【コミュニケーションスキル・相手との距離感・周囲の気持ち・絵本の情景理解・読み聞かせ・汲み取り過ぎ注意・ＳＳＴ・小集団交流 など】<br>支援内容の一例・場面に合った言葉を知らせていくために、文字と言葉の一致を図りながら言葉のキャッチボールが楽しめるようにしていきます。<br>・本人の伝えたい事や気持ちを言葉や表現で伝えられるように支援していき、伝わった喜びを自信に繋げられるよう寄り添います。<br>・コミュニケーションをとりながら正しい発音や語彙がさらに増えるように随時伝えながら取り組んでいきます。 | | |
| | 人間関係<br>社会性 | 支援キーワード【隣室児との交流・誘う/誘われる・相手のあるごっこ遊び・遊びの進化・物の貸し借り・共同制作活動・共有スペースのシェア　など】<br>支援内容の一例・一人遊び→平行遊び→連合遊び→共同遊び、と順に合わせて遊びを進化していけるよう機会に配慮していきます。<br>・隣室児との交流の中で、みんなと一緒に活動する楽しさを味わっていけるよう機会を設けていきます。<br>・隣室児や職員の存在を感じながら同じ空間で過ごし、隣室児とも遊びが共有出来たり、他者との円滑な関わりが持てるよう支援していきいます。 | | |
| 家族支援 | 利用者と保護者の思いを尊重しながら、こどもの発達状況や特性の理解、子育ての困り事やきょうだいへの配慮など、家庭生活の安定･充実に向けたアドバイスや相談援助を行い保護者等にも寄り添っていきます。 | | 移行支援 | 進路や移行先の選択については本人や家族への相談援助など移行に向けての様々な準備の支援を行います。移行先で新しく使う道具の名前や使い方、場所の名前などを実物や写真などを使って視覚で分かるように支援していきます。 |
| 地域支援・地域連携 | インクルージョンの推進への配慮として、相談支援専門員や保育所等訪問支援員などを通して園や施設等と本人の状態や支援内容等について情報の共有や連携などに取組み、具体的又は将来的な移行が考えられる場合はその支援目標や支援内容を設定していきます。 | | 職員の質の向上 | ・原則的に児童の保育や教育または福祉に関わる資格保有者(保育士･教諭･社会福祉士など)のみで職員構成を行っています。・月毎に異なるテーマでの職員研修の機会を設け、障がい理解の知識・福祉サービス法令等の遵守や安全衛生への知識及び支援スキル全般の向上を図っています。 |
| 主な行事等 | ・月毎共通制作（皆同じテーマで作品制作し、事業所の壁面やカウンター上に一定期間展示させてもらいます）<br>・季節イベント（バレンタインデー、ハロウィーン、クリスマスなどには同時間の隣室児同士でのミニイベントを行っています） | | | |